慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2014
Jtitle	新版 窮理図解 No.15 (2014. 1) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000015-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の本棚

My favorite books

パターン識別　青木研では、画像からのさまざまなパターンの認識、識別を課題としています。人は多様で膨大な情報をパターンとして概念に対応づけて、知識として蓄積することで、さまざまな状況に柔軟に対応しています。本書は、現在、いろいろな場面で活用されているパターン認識、機械学習の基礎理論を学ぶのに最適な本で、研究室で重宝されています。

認知心理学　この本は、認知心理学の過去と現在のみならず、これから展開しようとしている新領域までも含め、分かりやすく紹介しています。特に、認知進化と脳、社会的認知、文化と認知、メディア情報学と認知 といったホットな話題についても触れています。高度なセンシング、人工知能を実現するためには、人の認知機構に学びながらも、新たな切り口を見いだす必要があると考えています。まだその答えは見つかりませんが、工学だけでなく、認知心理をはじめ、関連学際領域の知識も勉強しながら、新しい視点からのアプローチを考えていきたいと思っています。

コンピュータビジョン　アルゴリズムと応用　コンピュータビジョンとパターン認識は、研究室で扱っている基盤的な研究分野ですが、コンピュータ視覚の過去から最新のアルゴリズムまで、さらにその実応用が紹介されていて内容が充実しており、バイブル的な本です。青木研の博士課程の学生さんが、翻訳に協力したりしています。

物質と記憶　身体（物）と心（精神）を明確に分けるデカルトの二元論に対し、その中間的な存在としての「イマージュ」なるものを導入した新しい二元論を展開しています。科学的造詣も深い哲学者であるベルグソンの代表的著書です。画像から得られるのは、あくまで物・現象の直接的な物理計測の結果ですが、間接的アプローチにより、物理計測の裏にある意識などの抽象的な情報を抽出できる可能性があると考えており、本書から新しい視点による研究のヒントを得ています。

ギブソン　生態学的視覚論　著者のJ.J.ギブソンは、視覚を「脳と眼」の知覚過程として捉えるのではなく、環境の中を動き回る、頭部についている眼が、環境中におかれた対象を「いかに見るか」という、視覚を生態学的に捉えた直接知覚説を展開しています。内容は難しいのですが、環境の中で人の行動を捉え、意味づけるという点で、大いに参考にしています。

大顔展　図録　日本顔学会が中心となって出版した、さまざまな分野、アプローチからの顔研究を豊富な写真とイラストで紹介した図録です。顔学会は心理学、人類学、医学、歯学、化粧学などの研究者が集い、「顔」という対象について、学際的な交流を行っているのが特徴です。大学院生当時、私は顔画像認識・合成という工学の立場から、学会に参加していましたが、その当時の異分野交流、共同研究の経験が、今の研究室運営に大いに役立っています。